

第4回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第4回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	平成18年7月11日 午後3時00分から午後5時15分まで
3	会 場	堀金総合支所 301・302 会議室
4	出席者	白澤会長、浅川副会長、小口委員、尾台委員、唐澤委員、唐沢委員、佐々木委員、武井委員、花村委員、林委員、平倉委員、藤岡委員、加々美委員、小松委員
5	市側出席者	黒岩総務部長、大内行政改革推進室長、堀内同室係長、平林同室係長、中山財政課長、高嶋財政担当係長、金井財政担当係長
6	公開・非公開の別	一部非公開
7	傍聴人	1人 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成18年7月19日
協 議 事 項 等		
1	会議概要	
	(1) 開 会	(浅川副会長)
	(2) あいさつ	(白澤会長)
	(3) 議 事	
		第3回委員会のまとめについて 補助金の見直しについて
	(4) その他	
	(5) 閉 会	
2	審議概要	
		第3回委員会のまとめについて(事務局より説明)
		意見等なく確認
		補助金の見直しについて(事務局より説明)
	委 員	: 見直しにあたっての削減目標額は設定していますか。
	事務局	: 今回は見直し方針(案)としてお示ししています。この方針は、補助金の一律カット、補助率の引き下げという見直しではなく、補助率と補助対象経費の両面から見直すというものであることから、現段階での試算、目標設定は出来ておりません。
	委 員	: 公益性、自主性というものは抽象的なもので、審査する者の視点でも違ってくことから、見直し時のトラブルを極力減らすためにも、出来るだけ客観性の高い評価基準、評価方法を用いることが必要です。

事務局：今後、この見直し方針（案）に沿って、担当課との調整、担当課と各種団体等との調整を十分に行い実施していく予定です。

委員：補助金の交付にあたっては、公益性の有無ということが、絶対的な条件になると思いますが、対象事業費については、「市が目指す、まちづくりの目的に合致しているかどうか」ということを重視し、ガイドラインを作成しておく必要があります。

委員：合併という良い機会ですので、市として「こういうものに補助金を出したい」という理念を明確にしておく必要があります。「補助金が出るから何かやろう」ということではなく、「あそこの活動は素晴らしいから、補助金を出そう」というようになればと思います。

また、種々の活動も、本当に地域の活性化に貢献しているものから、レクリエーションの延長のようなものまでありますので、一律に補助率を設定することには問題があります。

委員：各種団体と調整を行い、見直しを進めるということですが、実際に見直しを行って見たら、総額が現状よりも増えてしまうということもあり得ますので、行政改革という視点からの見直しであれば、削減目標を持つべきだと思います。

委員：補助金の中には、本来、行政がやらなくてはいけないものを団体に委託し、それに対し補助金が交付されているようなものも見受けられるので、委託すべきものは委託し、委託料として支出すべきであることから、見直しにあたっては、そうした内容も十分精査していただきたいと思います。

委員：見直し方針には、平成20年までの経過措置が盛り込まれていますが、改革としては、生ぬるいように思います。一旦、ゼロに戻した中で、各団体から計画書などをキチンと出して貰い査定を行うようにしないと、改革にはならないのではないのでしょうか。

事務局：19年度から出来るものはやっています。また、18年度においても、実績報告書の様式を改め、実績報告書のチェックは担当課で念入りに行います。その中で、補助金としては「本当に必要なものだけを出す」という方向で取り組んでおりますので、予算計上額を下回って交付される場合もあります。

会長：見直しにあたっての団体との協議の中では「補助金が出なくなったらどうするか」というところまで突き詰めて精査いただきたいと思います。

この後の、見直し方針（案）に基づく個別の補助事業・補助金の審議に当たっては、具体的な事業名、特定の団体名が議論の対象となり、そのことが今後の円滑な委員会運営に支障を来すことが予想されることから、委員会決議により、会議を非公開とした。